

経営比較分析表

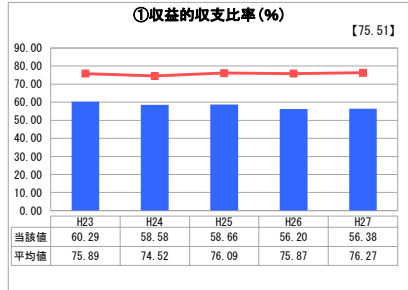
高知県 土佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	91.82	2,392

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,084	212.13	19.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,729	22.70	164.27

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



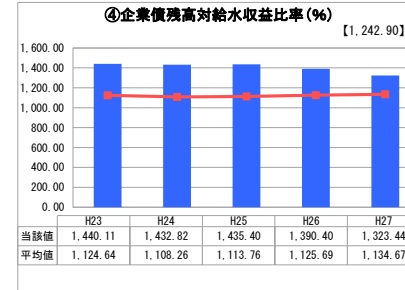
「単年度の収支」



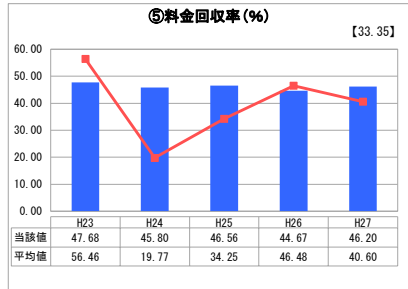
「累積欠損」



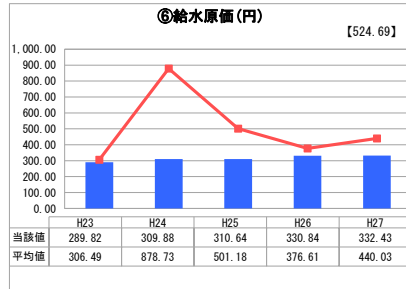
「支払能力」



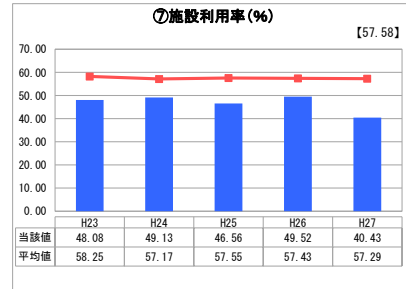
「債務残高」



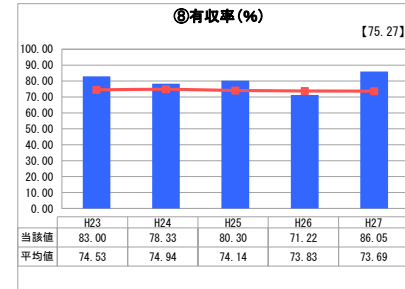
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

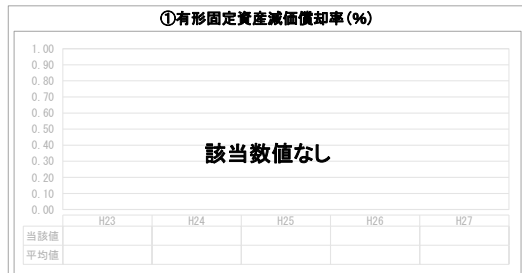


「施設の効率性」

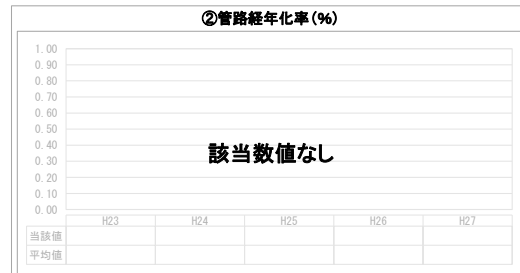


「供給した配水量の効率性」

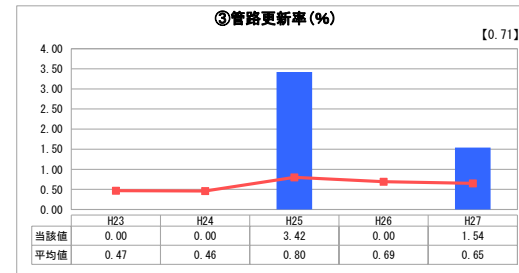
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①公益的収支比率」「⑦施設利用率」とともに、横ばい状態で推移してきているが、包括委託の業務の見直しや施設の状況を調査し、効率的な管理を進めていく必要がある。
 「⑤料金回収率」は、料金回収についても横ばい状態であるが、料金回収に向け他課と協議を進め、取り組んでいる状況である。
 「⑥給水原価」は、ここ数年微妙に上昇しており、包括委託の業務の見直し等を行い、原価削減対策を進めていく。

2. 老朽化の状況について

管路の更新について、耐震対応の管路改修に向け取り組んでおり、今後も計画的な管路更新を進めていく必要があるが、更新費用と料金収入等も考慮して、管路更新計画を策定していく必要がある。

全体総括

町民の生活に必要不可欠なライフラインであるため、安全安心な水道水供給に向け、施設の改修及び管路の改修等が必要である。
 ライフラインである水道供給・継続のため、経費削減や料金回収対策の強化等にも努めていく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。